

【技術の名称】 東急建設式 複合梁 SWITCH-sp 一端部RC造・中央部S造の複合梁構法－（改定1）	性能証明番号： GBRC 性能証明 第12-35号 改1 性能証明発効日： 2022年7月26日 【取得者】 東急建設株式会社
---	---

【技術の概要】

本技術は、梁のスパン中央部を鉄骨造（S 造）、材端部を鉄筋コンクリート造（RC 造）または鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC 造）とする複合梁構法である。中央部の S 部材は両端部の RC/SRC 部分に埋込まれており、S 区間と RC/SRC 造となる RC 区間の境界には鋼製の境界プレートが配し、RC 区間の主筋はこの境界プレートに定着される。境界プレートは S 部材に溶接して一体化する溶接タイプと無溶接タイプの二通りの選択が可能である。また、RC 部分は、コンクリート現場打設の他、プレキャスト（ハーフ PCa あるいはフル PCa）工法で製作することも可能である。

【改定の内容】

新規：GBRC 性能証明 第12-35号（2013年4月23日）

改定1：GBRC 性能証明 第12-35号 改1（2022年7月26日）

- ・ 工法名称の変更
- ・ 境界プレートと鉄筋の締結方法を追加
- ・ 使用材料の追加（鉄筋：高強度せん断補強筋（大臣認定品）、鋼材：基準強度 355N/mm² 以下の大臣認定品）
- ・ RC 区間の主筋の付着設計式を変更（鉄筋の締結方法にナット以外を使用する場合）

【技術開発の趣旨】

本技術は、比較的長いスパンの RC 造建物に対して、設計で要求される構造性能を有する軽量の複合梁を構築することを意図して開発したものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「東急建設式複合梁 SWITCH-sp 構造設計・施工指針」に従い、設計・施工された端部 RC 造・中央部 S 造の複合梁は、同指針で提示している許容耐力、終局耐力を有し、使用限界時に使用上支障となるひび割れ等の損傷を起こさず、損傷限界時に修復性を損なうひび割れ等の損傷を起こさないこと。また大地震時において所期の変形性能を有している。

東急建設式複合構造梁の独自性

- ・ RC 区間小口に境界プレート
- ・ 境界プレートと主筋をナット接合
- ・ S 部材を RC 区間に埋込む

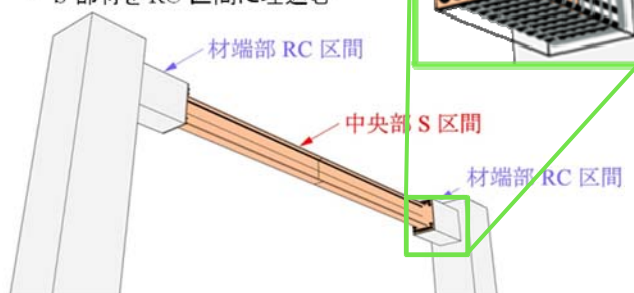


図1 東急建設式複合梁 SWITCH-sp の概要

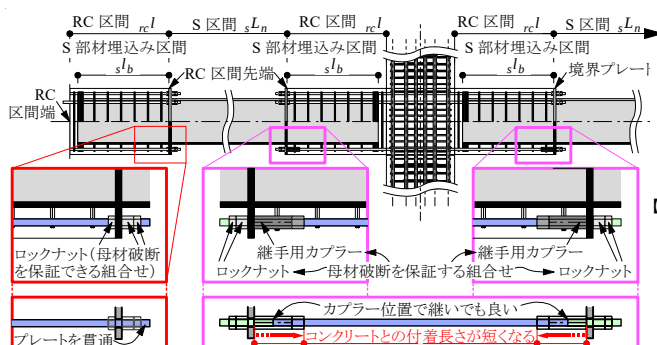


図2 境界プレートと主筋の締結方法の種類



写真1 実施例

【本技術の問合せ先】

東急建設 株式会社

担当者：佐藤 良介

E-mail：satou.ryousuke@tokyu-cnst.co.jp

〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名 3 0 6 2 - 1

TEL：042-763-9521 FAX：042-763-9504